

月読

ツクヨミ

R-18
成人向け
**ADULT
ONLY**



—異界

きさらぎ駅、マヨヒガ、犬鳴村
桃源郷、等々
都市伝説としても語られる
人が属する世界の外側

はあ

はっ

元山岳部と…言っても
一年のブランクで
このザマかよ…

とある山中の深く霧に
覆われた場所
普段何者も寄せつけぬ神域

おまけに変な
霧も出てきたし
…ったく

—っ

月読

ツクヨミ

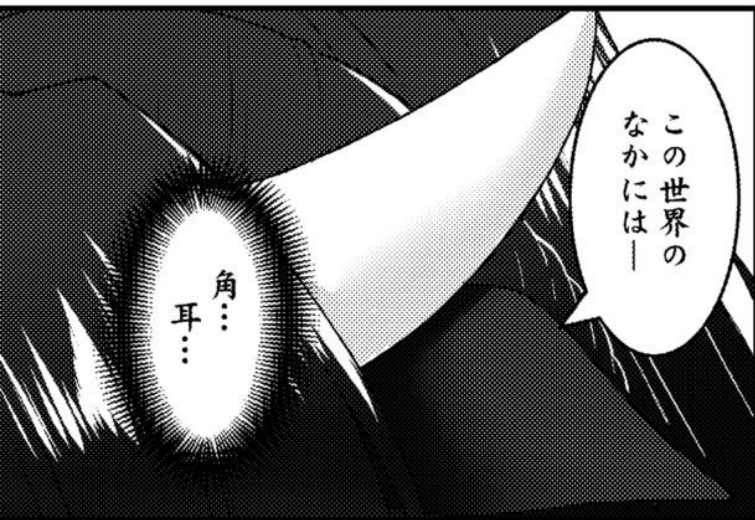
その神社には半人半獣の
巫女が住まうという





あら？こんな
ところに珍しい

人の来訪なんて
何年ぶりかしら？



角…
耳…

この世界の
なかには—



まさか…本当に
いたなんて…

〇〇山？



ここは…？

ここは「狭間」
現実と異界の境界と
言われておりますわ

ふふ…人には少し
難しかったかしら

…？





そりゃ歴代部長の
申し送りだからな

伝説を体験
してしまった…

誰に言っても信じて
貰えないだろうな…



もし…今
よろしいですか？

はっ！はいっ
大丈夫です！

—失礼いたします

—っ！

ドキッ

み…巫女さん

ふふっ…♥私の
ツクヨミ
ことは津久詠と
お呼びください

この姿に
驚かれましたか？

むわっ…♡

は…はい

ピン
ピン

きい

おきい

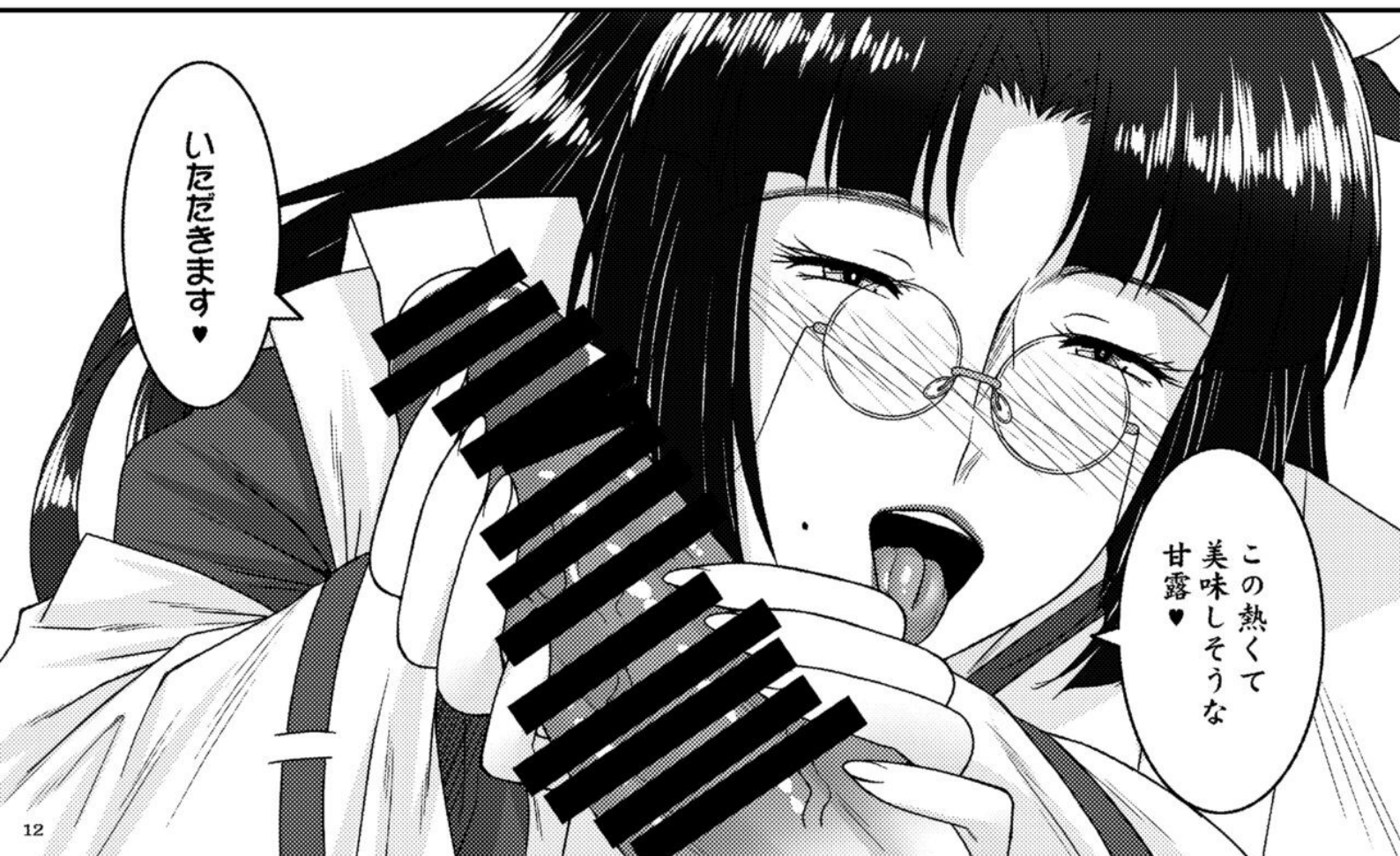
この狭間は本来
人を遠ざけるもの

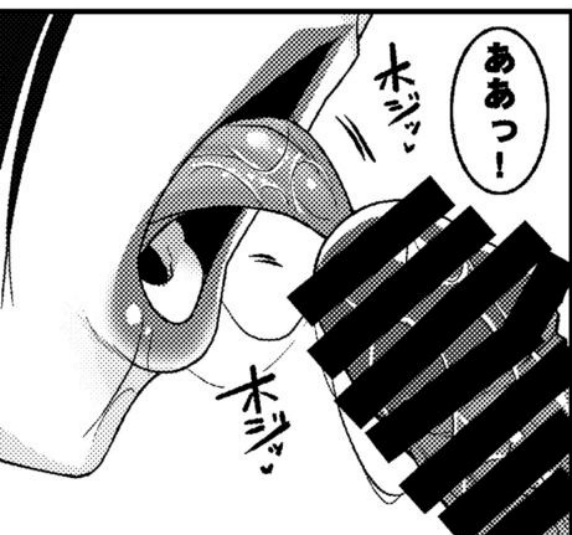
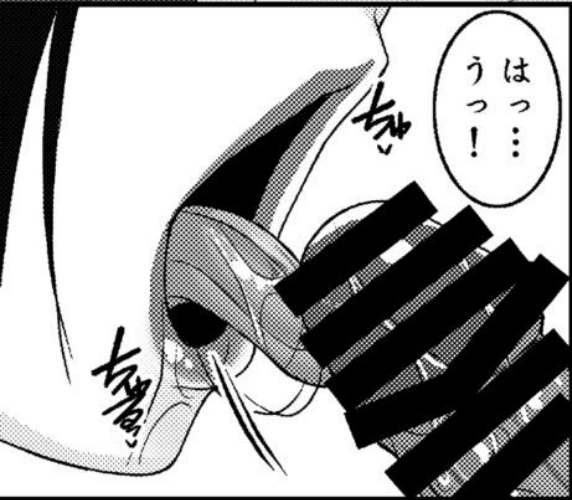
そこに足を踏み入れる
貴方は何者ですか？



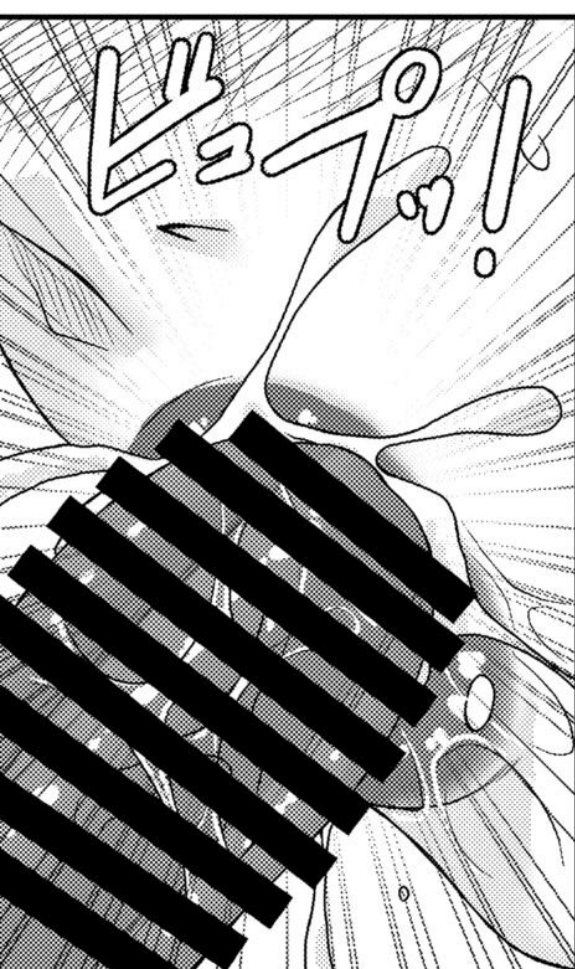






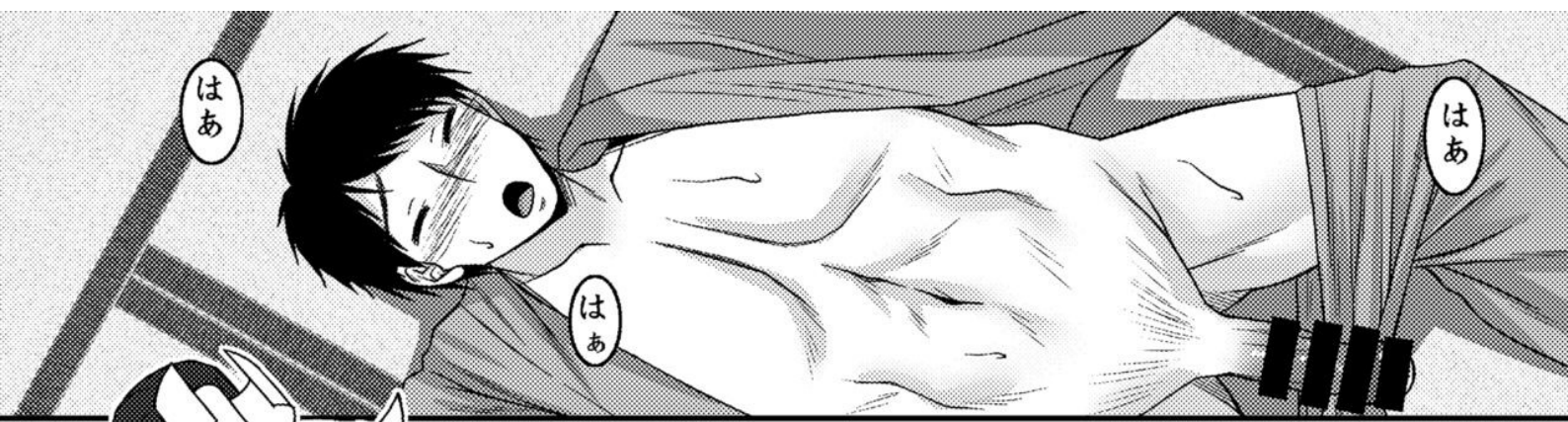






ああ…♡口の中に
広がる生の雪…
なんて雄々しい♡

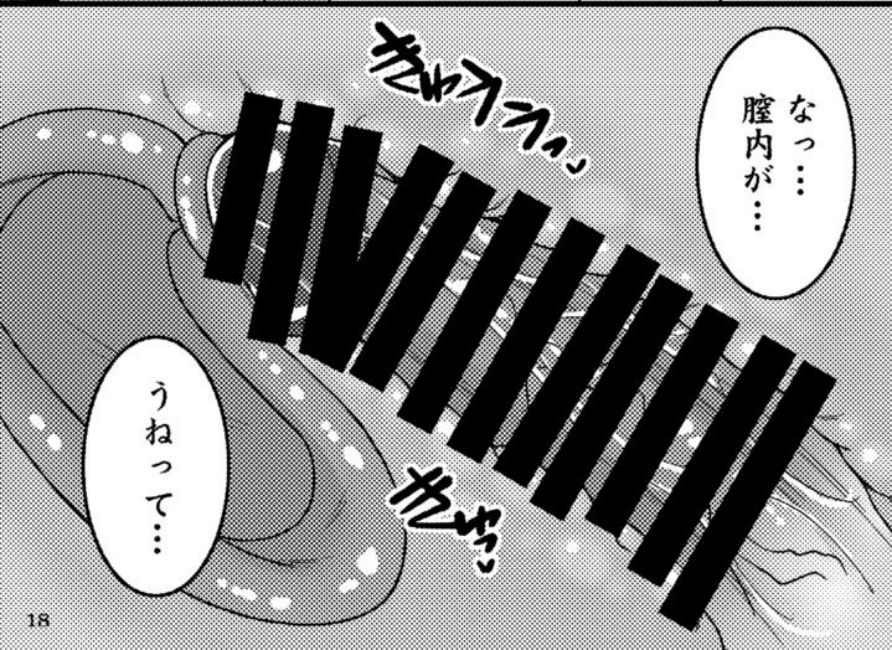
濃さ♡量♡臭い♡
素晴らしいわ♡





先ほどより更に
そぞり立つた
たくましい男根を…♡

私めの膣内なカに♡



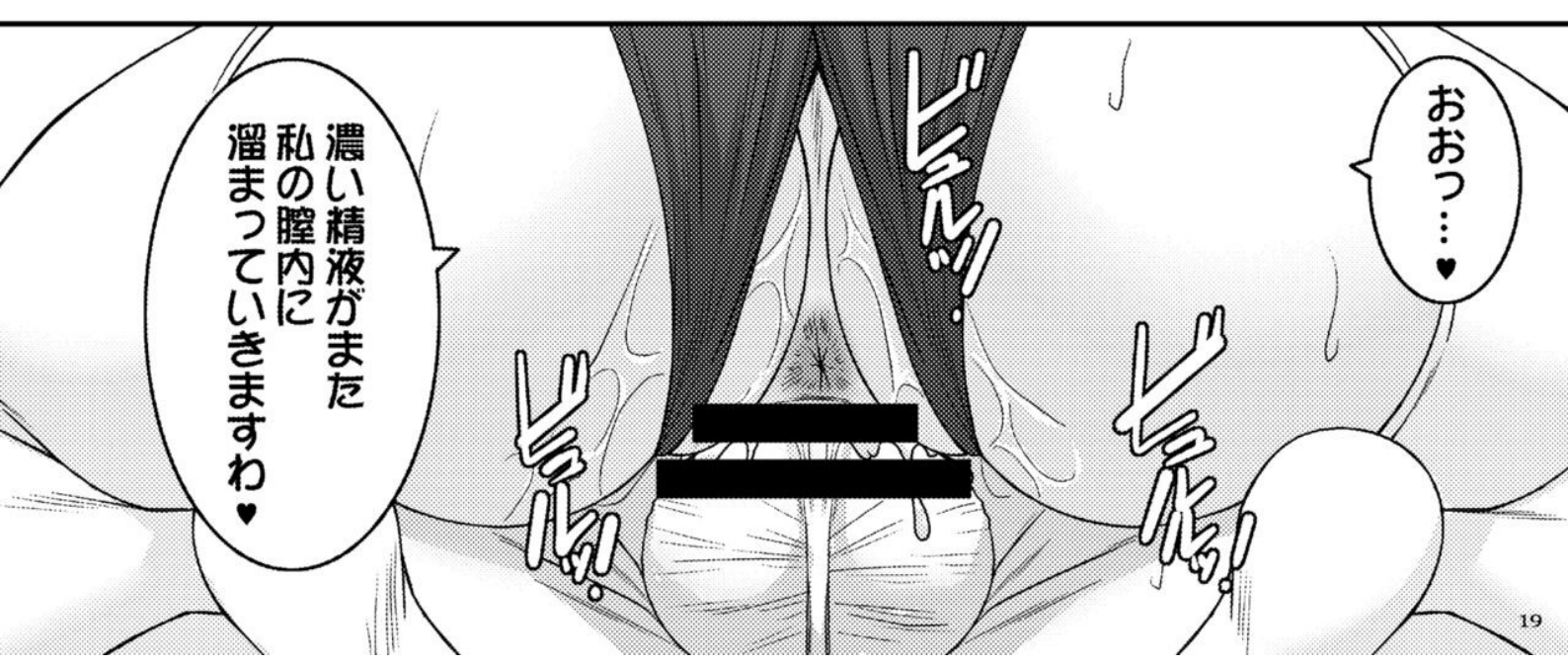
なっ…
膣内が…

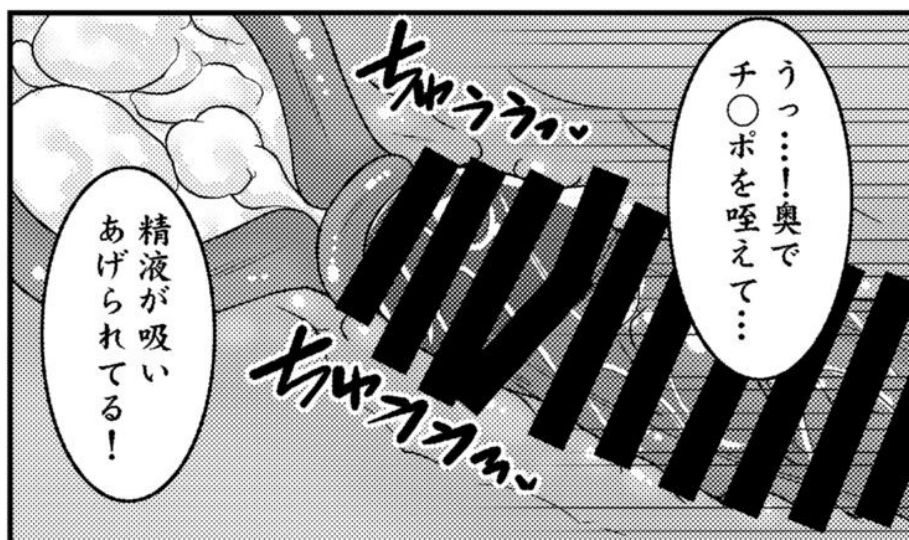
うねって…



あっ…

あぁっ





夜は始まったばかり
この身体の疼きを

貴方のオチ○ホで
鎮めて下さいまし♡

ああ…♡また私の
膣内で大きく…♡
この乳房も♡

どうぞ貴方の
思いのままに♡

あおんっ♡

ぎゅっ！
ぎゅっ！

この張った乳房から
乳を絞るように
強くっ♡

くっ…揉むたびに
締め付けが強く…

ええ♡ええ♡
それが私の身体♡

もっと強くして
下さいましっ♡

貴方の精を少しでも
多くいただくために♡



ビクッ

あ...あ...あ...
クッ

ズン

ズン
ズン

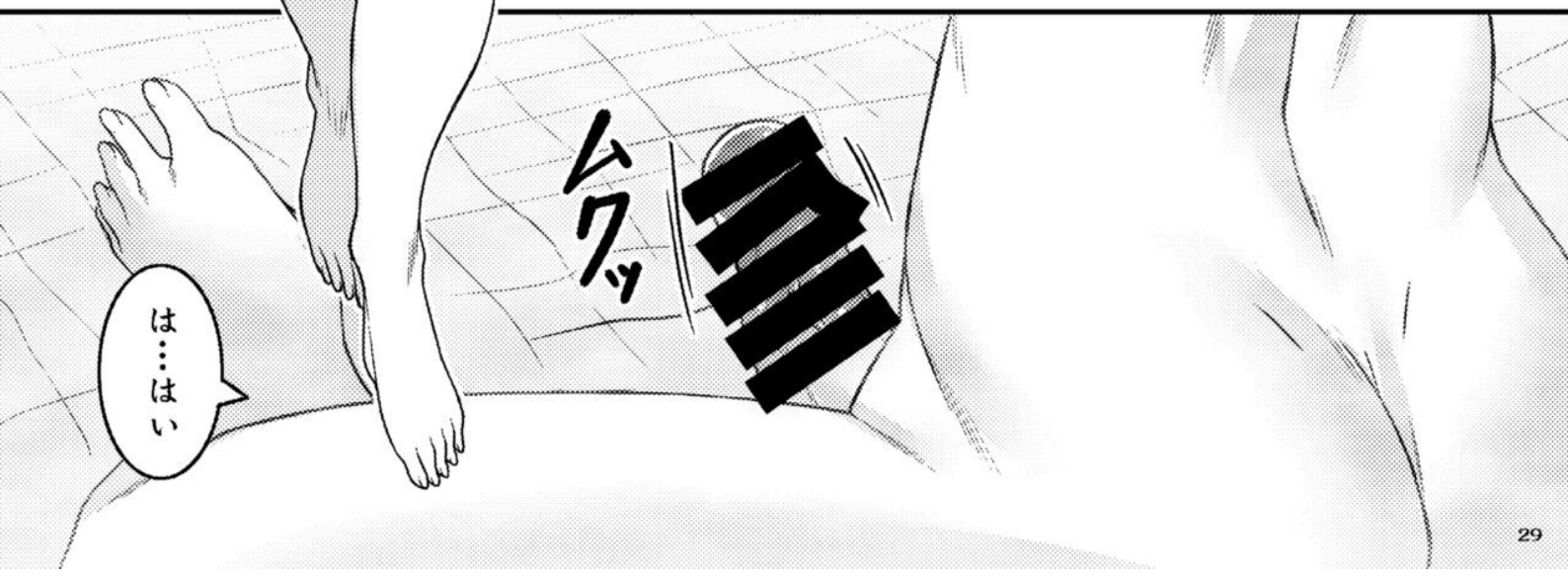
ズン







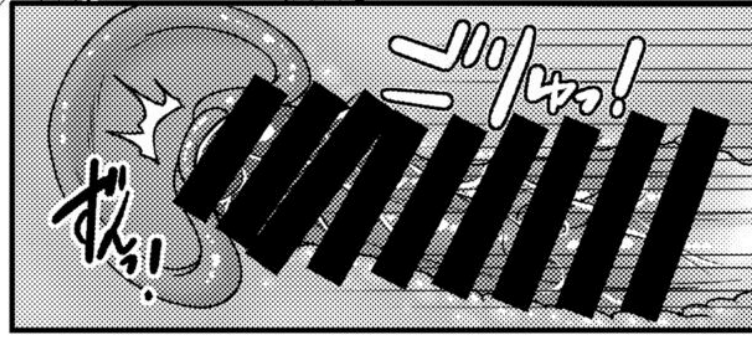


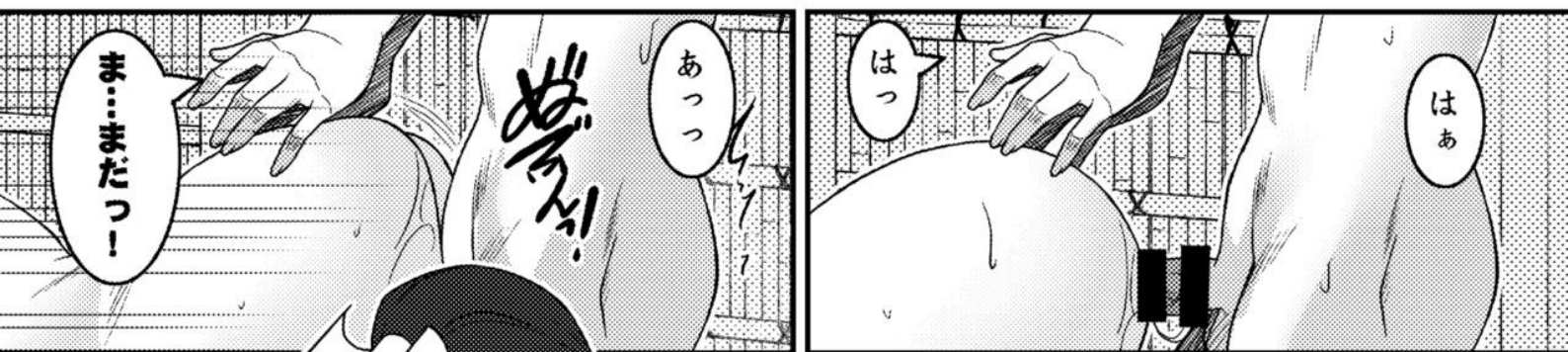
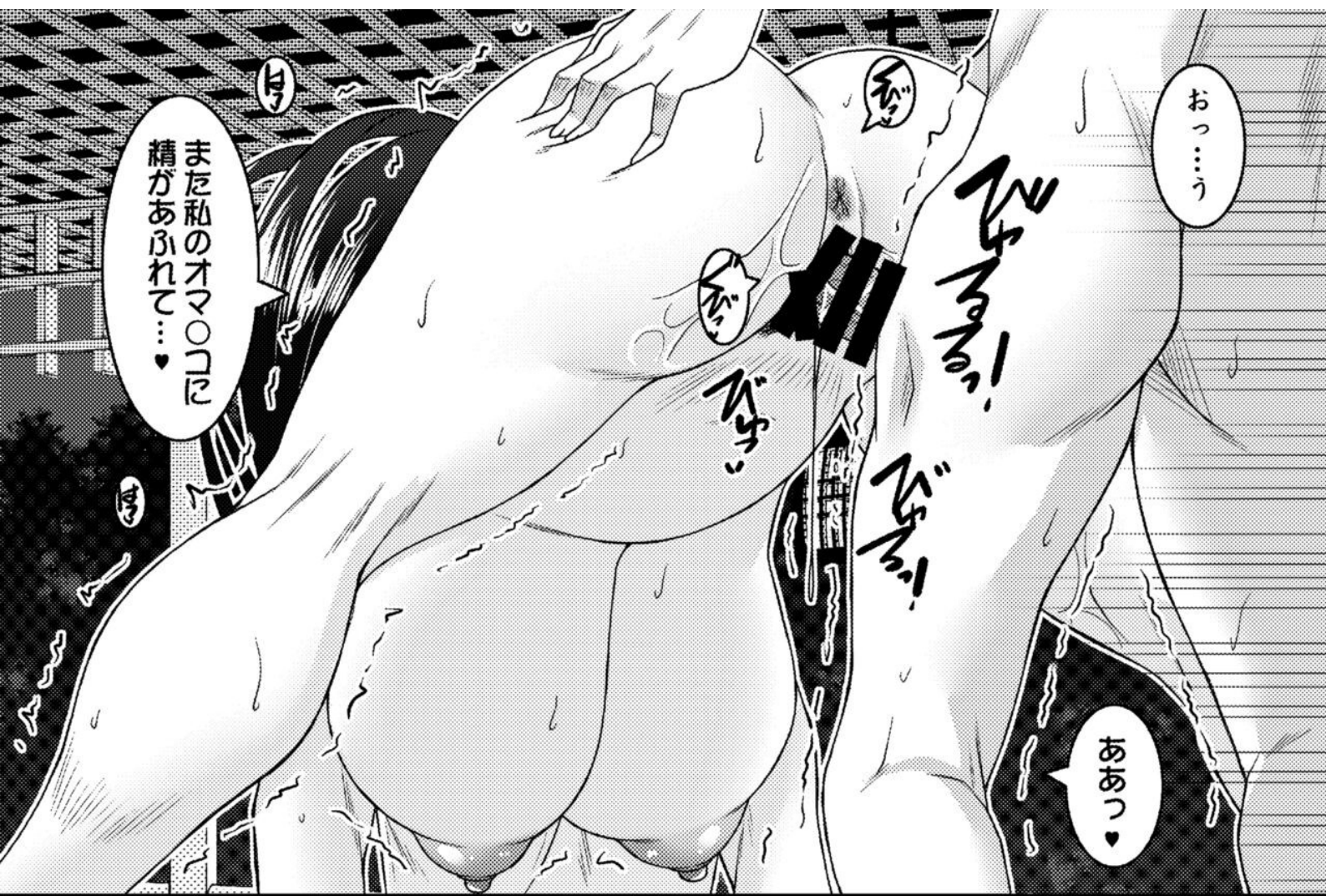














あひんっ♥
オマ○コッシ♥

オチ○ポで
えぐられてるっ♥

あひん

こんな強い
オチ○ポっ♥

はじめて
ですわっ♥









おっ……うっ！
あっっ！

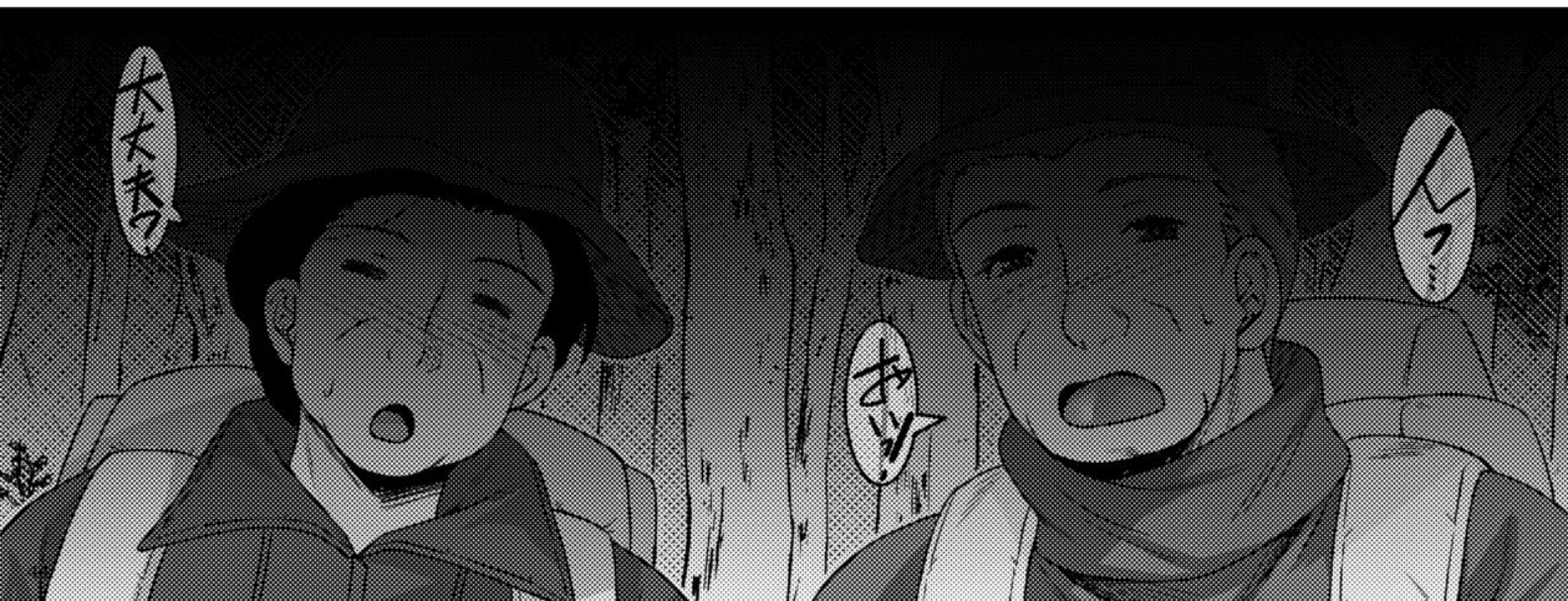
いん！

ん！

うっ！
うっ！
うっ！









君っ！大丈夫か
しっかりしろ！

私たちの声が
聞こえるか？

あなたこの人
気付いたみたい



ありがとう
ございました

気を付けて

何か
あったら！



あの…

君はこの岩場で
呆然としていたんだ
覚えてないのかい？

声をかけても
反応がなかった
から…

あ…いえ…すいません
大丈夫です…何か夢を
見てみたいで…

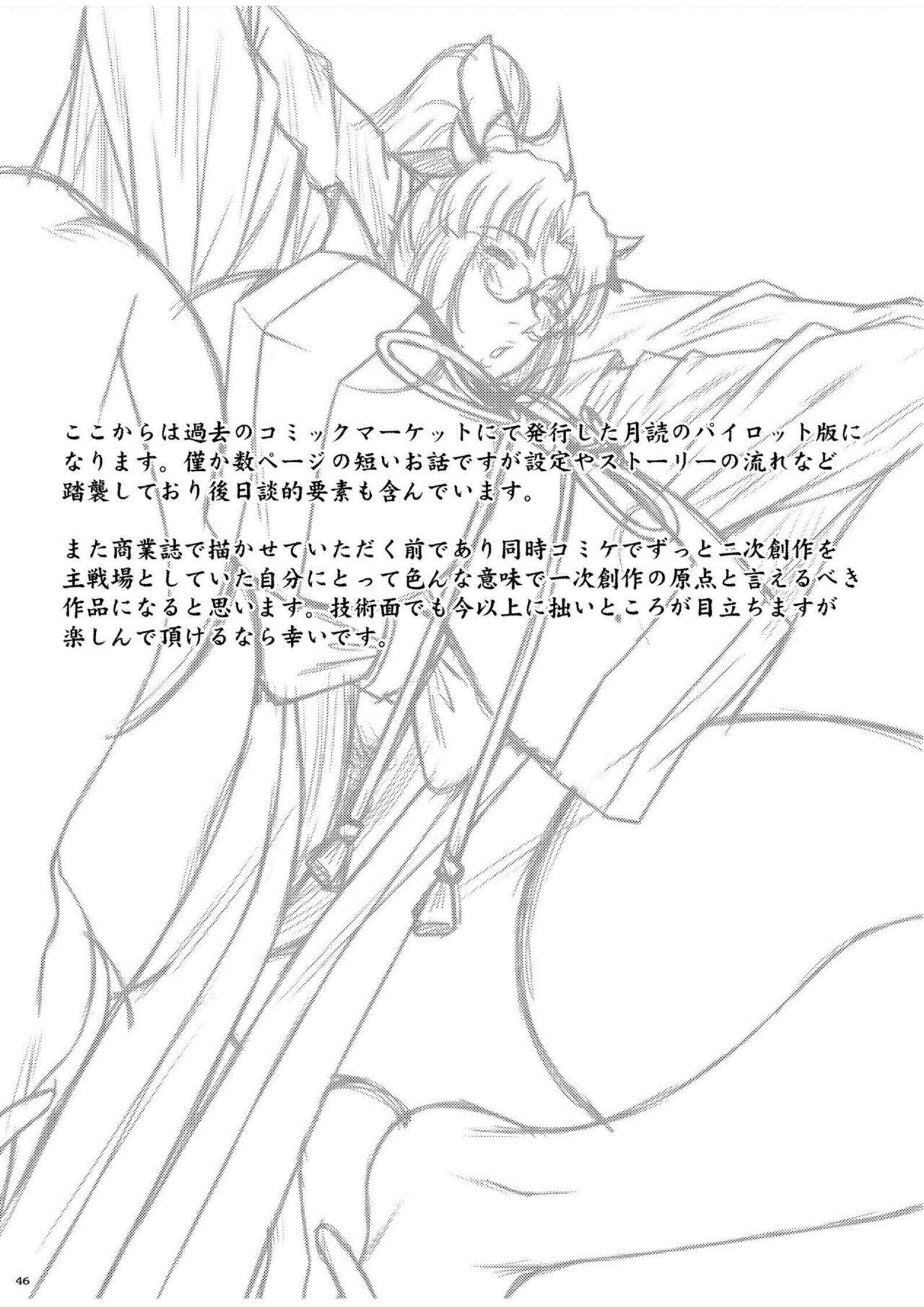


あれ…？
俺ここで何を
してたんだっけ？

変に体だるいし
下半身に妙な
脱力感が…

トクン…

トクン…



ここからは過去のコミックマーケットにて発行した月読のパイロット版になります。僅か数ページの短いお話ですが設定やストーリーの流れなど踏襲しており後日談的要素も含んでいます。

また商業誌で描かせていただく前であり同時コミケでずっと二次創作を主戦場としていた自分にとって色々な意味で一次創作の原点と言えるべき作品になると思います。技術面でも今以上に拙いところが目立ちますが楽しんで頂けるなら幸いです。

R-18
ADULT
ONLY

成人向



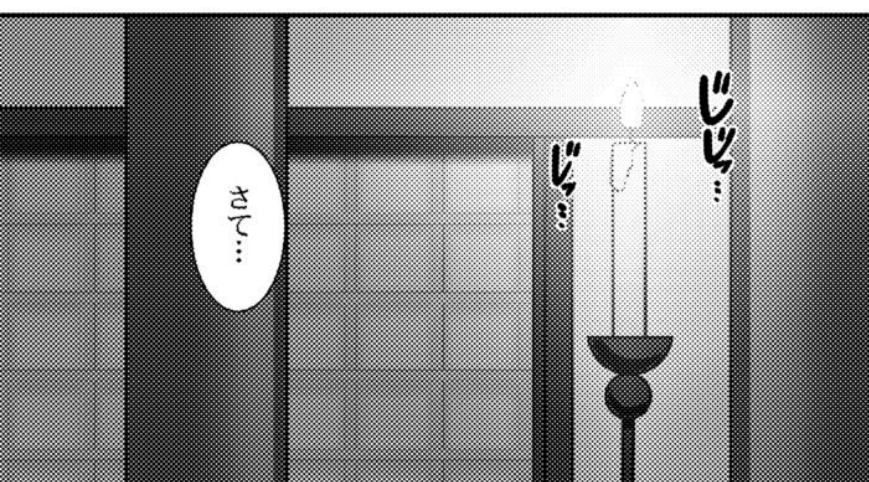
—
月
蝕
—



あら、また来られたのですか
貴方も物好きですね…

こんな山奥まで
毎日ご精の出ること

ぞ
おおお…



ジジ…

さて…



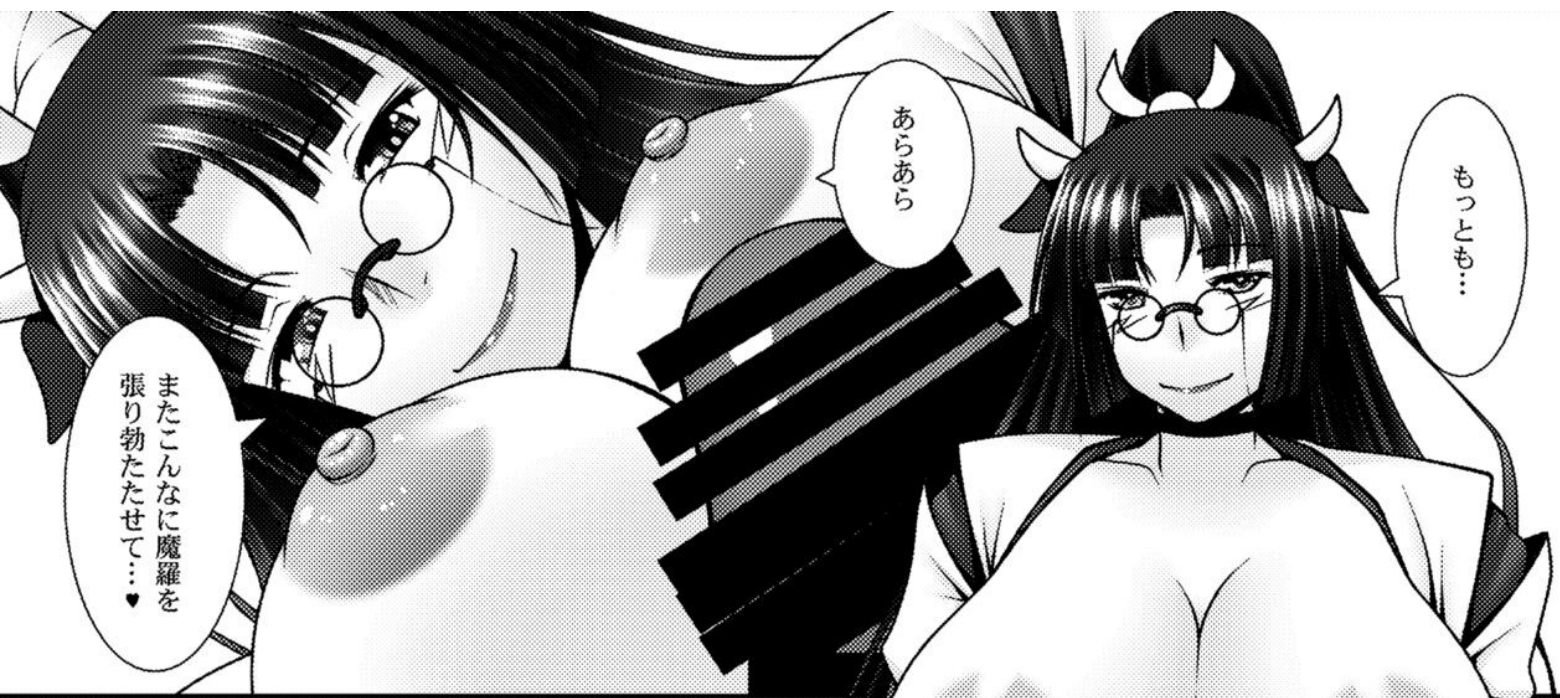
先日も申し上げた通りここは「狭間」
本来人が立ち入る場所ではないのです

早々に帰られることをお勧めします
でなければ命にかかりますよ？



まあ、立ち話もなんですから
どうぞ中に

暗い山道を歩き通して
お疲れでしょう？



もともと...

あらあら

またこんなに魔羅を
張り勃たさせて...



先日もそうでしたけど
貴方という人は

貴方の目的は最初から
この私のようなのですが

ふふっ

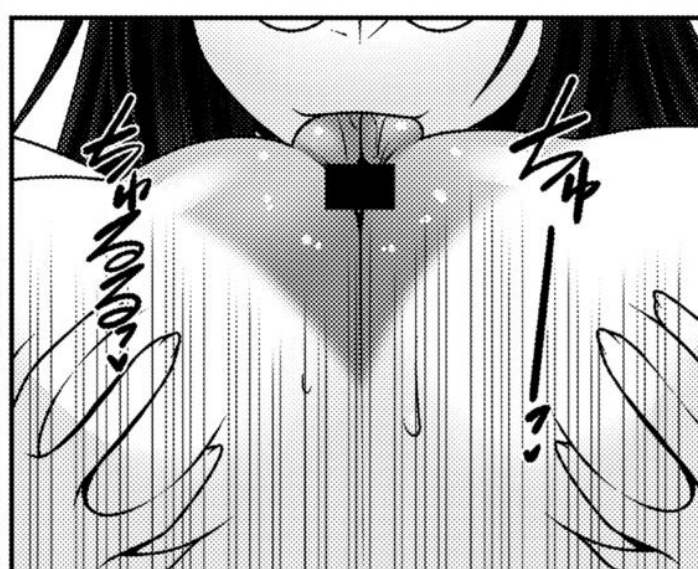
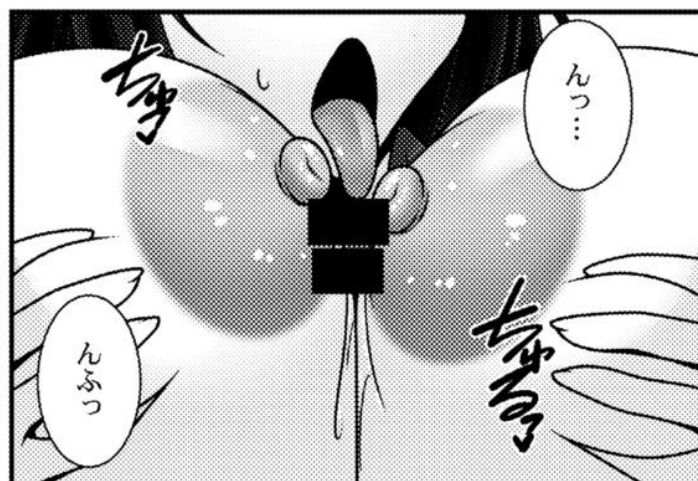
子種袋が空になるまで
満足しませんものね

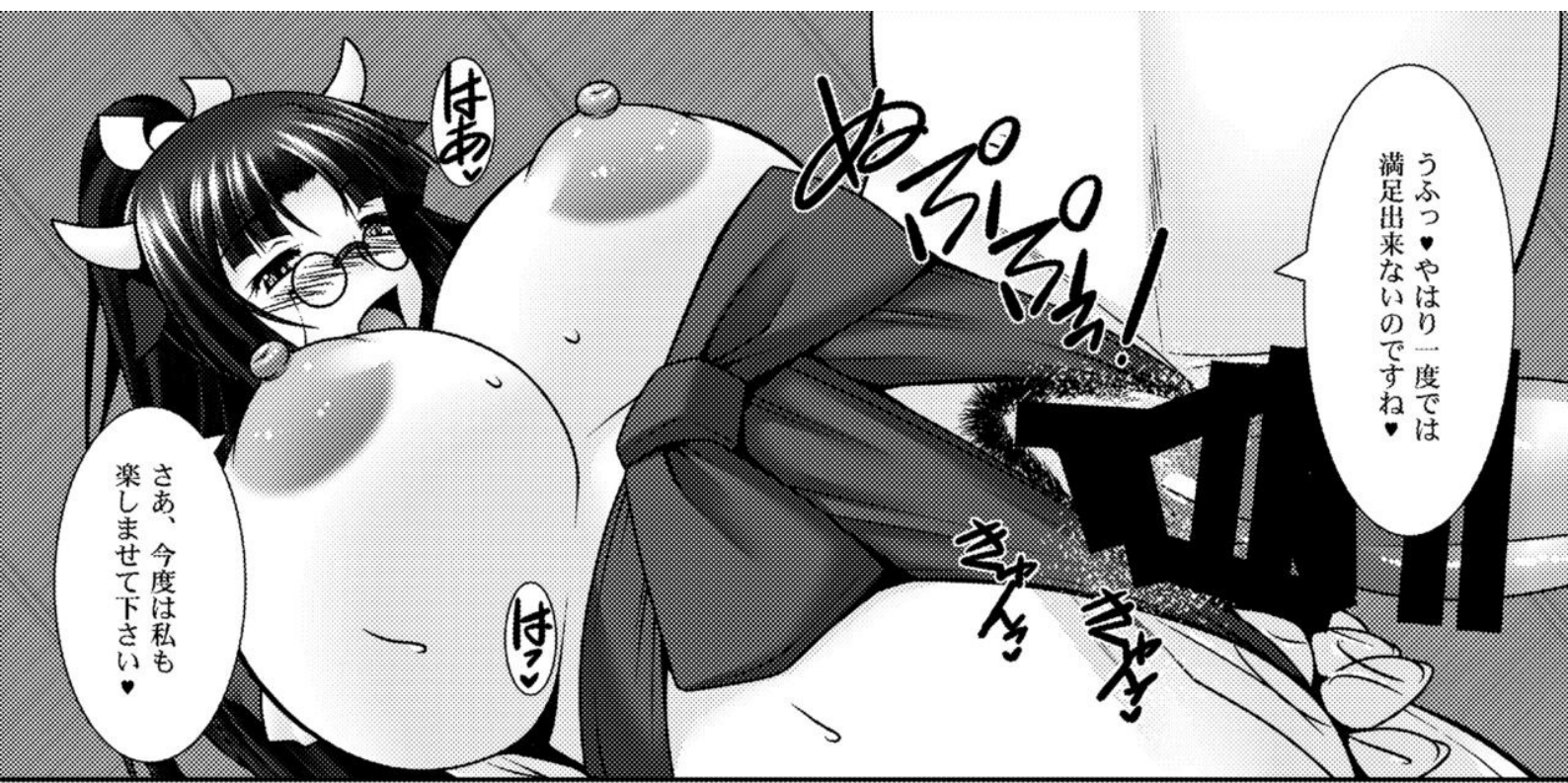


本当に命知らずも
良いところです

人でないものの交わりに
快楽を見い出すなど...

しかし、それ故にここへ
辿り着いたということ
でしょうか





うふっ♥やはり一度では
満足出来ないですね♥

さあ、今度は私も
楽しませて下さい♥



ああ…素敵です♥
まだこんなに硬くて♥

もっとなんも奥まで
こねくり回してっ♥
突き上げてっ♥

貴方の魔羅で私を
よがり狂わせてっ♥

私の蜜壺も下品にお汁を
漏らしてしまいます♥



いっつ！貴方の魔羅が
私の膣内で暴れます♥

もっと！もっと
突いて下さいっ！



そこっ！そこですっ！
私の蜜壺の奥まで
かき回して下さいっ！



ま、また射精すのですね
どうぞ好きなように♥
私の膣内で貴方の全てを
受け止めますから♥

私の子宮に最後の
一滴まで注いで
下さいませ♥







-奥付-
一月読

印刷：大陽出版株式会社

2023/08/13 野麦茶発行

<https://twitter.com/nomugicha>

無断複製・転載・インターネットへの
アップロードを禁じます



月読

ツクヨミ



Presented by Nomugicha
For AdultOnly